

日本図書館情報学会会報

No. 136

2010年2月

日本図書館情報学会事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 内

E-mail: jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

学会ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

2010年度日本図書館情報学会春季研究集会のお知らせ

会員各位

日本図書館情報学会会長
根本 彰

2010年度の春季研究集会を下記の要領で開催します。研究発表申込の受付を開始しますので、＜発表募集要領＞および＜研究大会・春季研究集会における発表のルールについて＞をよくお読みの上、ふるってご応募ください。春季研究集会の円滑な運営のため、募集要領、発表ルールの遵守を重ねてお願いいたします。

研究集会プログラムの発表と参加申込の受付とは、4月刊行予定の会報で行います。春季研究集会関係の情報は、学会のホームページでも随時提供します。

会員多数のご参加をお待ちしております。

記

日 時：2010年5月29日（土）10:00～18:00（時間については変更される場合があります）

場 所：同志社大学 今出川校地

http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html

住 所：〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入

最寄り駅 京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩1分

京阪電車「出町柳」駅から徒歩15分

参加費：正会員 2,000 円，学生会員 1,000 円，非会員 3,000 円

＜発表募集要領＞

応募資格：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、筆頭発表者が正会員または学生会員であること）

発表時間：1件30分（発表時間20分，質疑応答10分）

発表の言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、申込、要綱、発表、記録まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。

申込方法：「2010年度春季研究集会研究発表申込書」【(Word版) / (Text版)】に必要事項を記入の上、下記研究委員会春季研究集会担当宛に電子メールか郵便でお送りください。なお、受理された申込書はWeb上で公開する予定です。あらかじめご承知おきください。

申込締切：2010年3月13日(土)(午後6時 必着)

3月17日(水)までに申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます(受理の連絡はまた別途行います)。申し込んだにもかかわらずメールがない場合、トラブルの可能性がありますので、3月19日(金)の正午までにご連絡ください。この時までにご連絡がなかった場合は、申込はなかったものとして処理させていただきます。

発表要旨の提出：発表することが決まった場合には、A4判で4枚の発表要綱を作成し、2010年5月1日(土)までに原稿を同志社大学春季研究集会事務局宛に送っていただきます。要綱の作成方法、郵送方法などに関しては、発表申込受理者にご連絡いたします。その際、要綱提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。

発表のための機材：パソコンによるディスプレイ(PowerPoint)装置が使用可能です。その他の機材をご要望の場合には、研究委員長の岸田までお問い合わせください。

<日本図書館情報学会研究委員会 春季研究集会担当/研究委員長>

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学文学部 岸田和明 気付

FAX: 03-5427-1578 E-mail: jslis-kenkyu@ml.keio.jp

<研究大会・春季研究集会における発表のルールについて>

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認の上、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員(正会員・学生会員)は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて1回を原則とする。
- (4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表要綱の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 発表プログラム公表後のプログラム(発表タイトル、発表者、発表内容、発表時間)の変更は原則として認めない。どうしても変更せざるを得ない場合には、要綱提出の1週間前までに研究委員長に理由を付して変更を申し出ること。
- (7) 発表申込、要綱作成、発表、発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする。

2010年度 日本図書館情報学会春季研究集会 研究発表申込書（郵送用）

2010年 月 日提出

発表者の氏名（所属）	
○共同発表の場合には、非会員に*を付けてください。なお、筆頭発表者が実際に登壇者となることが原則です。	
発表題目	
発表要旨 (1) 背景・目的, (2) 方法, (3) 得られた（予想される）成果をもれなく、合計800字程度で記述してください。	
備考 (PC, プロジェクタ以外の機材使用希望等)	
●連絡先（共同発表の場合には代表者1名について記入してください） 氏名（ふりがな）： 住所 〒 ----- TEL FAX e-mail(必ず記入してください)：	
※事務局使用欄	受付番号（ ） 受付日 2010年 月 日

提出期限は3月13日（土）です。研究委員長宛にお送りください。電子メールでの提出書式（テキストファイル）は電子メール版会報で配布します。学会サイト<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>からも入手できます。

図書館情報学検定試験関連事業についてのお知らせ

(財) 図書館振興財団より活動資金が寄せられる

図書館情報学検定試験準備のための活動資金として、上記財団より 2009 年度、2010 年度分で合わせて 460 万円の助成金を得ることができました。

(図書館振興財団 HP : <http://www.toshokanshinko.or.jp/jigyou/josei.htm>)

活動資金の管理方法については次のようにいたします。

- －助成金は「一般会計」、「特別会計」とは別枠の会計として扱い、監査の対象とする
- －図書館情報学検定試験実施検討委員会が事業を執行する
- －会計処理および会計報告は事務局が行う

また、これにともない、「本年度事業計画」(2009 年度 6 月号会報掲載)の段階で未定であった「図書館情報学検定試験準備事業」について次項のようにいたします。

2009 年度「図書館情報学検定試験準備事業」事業計画

1) 検定試験準備試験の実施

科学研究費補助金基盤研究 A「情報専門職養成を目指した図書館情報学教育の再編成」(略称 LIPER2) 研究班との協力の下、検定試験準備試験問題を作成し、2009 年 11 月 22 日(日) 午後に東京(2 会場)、大阪、つくばの 4 会場で検定試験準備試験を実施する。実施に必要な業務の一部を情報科学技術協会 (INFOSTA) に委託する。

2) パネルディスカッションの開催

図書館総合展に参加し、2009 年 11 月 12 日(木)にパネルディスカッション「図書館員に試験!? 図書館情報学検定試験を考える」を開催する。パネリストとして公共図書館、大学図書館、図書館情報学教育関係者を招き、主として図書館の実務に携わっている立場から検定試験の意義について討議する。

3) 研究会の開催

2010 年 3 月 27 日(土)に研究会「3 年目に入った『図書館情報学検定試験』準備試験を徹底分析! - 専門家に聞く『2009 年度図書館情報学検定試験』-」を開催する。本年度実施した準備試験を素材にして具体的に試験のあり方について議論する。(下記参照)

2009 年度予算 (図書館振興財団からの助成による分のみ)

図書館振興財団からの助成金 460 万円 (2009-2010 の 2 カ年分)のうち、2009 年度の事業には 180 万円をあてる。内訳は次のとおりとする。

費目	予算
試験実施委託費	800,000 円
パネルディスカッション・研究会開催経費	400,000 円
問題作成費	500,000 円
その他事務経費	100,000 円
計	1800,000 円

なお、公開研究会「図書館情報学検定試験の実施に向けて: 心理学検定に学ぶ」を 9 月 4 日(金) 14:00~17:00 に、東京大学教育学部において、科学研究費補助金基盤研究 A「情報専門職養成を目指した図書館情報学教育の再編成」(略称 LIPER2) 研究班との共催の形で実施した。講師に市

川伸一氏（東京大学大学院教育学研究科教授）をお招きし、「心理学検定」の準備過程および実施状況についての講演をいただき、意見交換を行った。（当学会による経費負担なし）

研究会開催のお知らせ

研究会「3年目に入った『図書館情報学検定試験』準備試験を徹底分析！
－専門家へ聞く『2009年度図書館情報学検定試験』－」

主催：日本図書館情報学会図書館情報学検定試験実施検討委員会

日時：2010年3月27日（土曜日）午後1時半から4時半

会場：東京大学 教育学部 第一会議室（東京大学本郷キャンパス 赤門を入れてすぐ左手の建物の1階）

これまで3年にわたって実施してきた図書館情報学検定試験準備試験の内容について、出題側の観点から解説を加えるとともに、これまで準備試験に参加した大学の教員をお招きして、受験生の反応、試験結果などを踏まえながら出題内容についての意見を述べていただきます。それに引き続き参加者全員で討議を行いたいと考えます。多くの方のご参加をお待ちします。

【プログラム（予定）】

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:15 検定試験の出題範囲と出題意図（根本彰会長）

14:15～15:00 試験問題について私はこう考える（大谷康晴氏、大庭一郎氏、村上泰子氏）

15:00～15:10 休憩

15:10～16:30 討議

参加費：無料

参加申込：jsliskentei@gmail.comまで、お名前、ご所属、連絡先を明記のうえお申し込みください。

本件の問い合わせ先：竹内比呂也（図書館情報学検定試験実施検討委員会委員長／千葉大学）

jsliskentei@gmail.com

各委員会・事務局から

学会賞・学会奨励賞・学会活動貢献賞の報告

第38回（2009年度）の学会賞・学会奨励賞、ならびに、第3回（2009年度）学会活動貢献賞を決定し、2009年11月1日（日）の臨時総会終了後、授賞式を開催しました。受賞者は以下の通りです。なお、授賞理由は、次号の『日本図書館情報学会誌』に掲載予定です。

・学会賞：中村百合子氏（同志社大学）

受賞著作：『占領下日本の学校図書館改革：アメリカの学校図書館の受容』慶應義塾大学出版会，2007. 208p. 中村百合子『占領下日本の学校図書館改革：アメリカの学校図書館の受容』慶應義塾出版会，2009年3月，viii+394p.

・学会奨励賞：松戸宏予氏（コロンビア大学ティーチャーズカレッジ日本校）

受賞著作：“特別な教育的ニーズをもつ児童生徒に関わる学校職員の図書館に対する認識の変化のプロセス”『日本図書館情報学会誌』Vol. 54, No. 2, June 2008, pp. 97-116.

- ・学会奨励賞：汐崎順子氏（慶應義塾大学）

受賞著作：『児童サービスの歴史：戦後日本の公立図書館における児童サービスの発展』創元社，2007年6月，213p.

- ・学会活動貢献賞：村主朋英氏（愛知淑徳大学）

受賞理由：学会事務局長をはじめとする積年にわたる学会活動への貢献による。

『日本図書館情報学会誌』投稿先について

『日本図書館情報学会誌』の投稿先・連絡先は以下の通りです。投稿は随時受け付けています。

〒305-8550

茨城県 つくば市 春日 1-2 筑波大学 大学院 図書館情報メディア研究科

吉田右子 研究室 気付 日本図書館情報学会 編集委員会

連絡先：yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp

投稿規程については、『日本図書館情報学会誌』Vol. 54, No. 4に掲載されたほか，以下のURLにも掲載しています。投稿される際は必ずご確認ください。

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/journal/c_reg_081010.pdf

会費納入のお願い

2009年度までの会費未納の方は，すみやかに会費を納入ください。

下記，振り込み先まで，振り込みください。

【振り込み先】ゆうちょ銀行：口座番号 00160-5-0045759（口座名義＝日本図書館情報学会）

会員情報の変更について

住所，電話番号，所属先，メールアドレス，会員種別等の変更については，学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」（下記 URL からダウンロード可能）にご記入いただき，事務局までメールでお送りください。

会員情報変更申請書について：http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/membership_3.html

会員情報に関する問い合わせ先：jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

退会について

退会については特に書式はございませんので，メールもしくは郵送にてご連絡ください。2009年度末の退会届け出は，2010年5月31日が締め切りです。

メールマガジンについて

総務委員会では，メールマガジンを発行しています。本学会，ならびに，他団体等からのお知らせのうち，速報性が重視されるものや，会報でご案内できないものを主な内容とし，随時発行しています。掲載・講読希望の方は，jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp まで電子メールにて，ご連絡ください。

事務局受領資料リスト

- ・『電気通信普及財団 研究調査報告（CD-ROM版）』，電気通信普及財団，2009.

※会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には，可能であれば事務局まで1部お送りい

ただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。